

二〇二五年八月一七日

ビオトープへと降りそそぐ蟬時雨	康子
蝸の埧塙となりし峡の道	わかば
橋殿に佇みをれば風は秋	せいじ
睡蓮のはや閉ぢそめし亭午かな	せいじ
かなへびの尾のみ見へる岩間かな	むべ
注連古りし神の大樹や蟬しぐれ	康子
橋殿に江戸風鈴の上機嫌	あひる

定例WEB句会みのる選

二〇二五年八月一七日